

七沢療育園便り

第68号

2017年11月発行

神奈川県総合リハビリテーションセンター七沢療育園

〒243-0121 神奈川県厚木市七沢516

電話 046-249-2720

ファックス 046-249-2739

ホームページ <http://www.n-ryoikuen.kanagawa-refab.or.jp/>

メールアドレス ryoikuen@kanagawa-rehab.or.jp

新病院スタート！

看護課 総括主査 小池 智恵美



11月に入り、日に日に寒さが増してきて、私にとってはつらい季節になりました。療育園では、インフルエンザ予防接種も終わり、感染症対策も始まりつつあります。

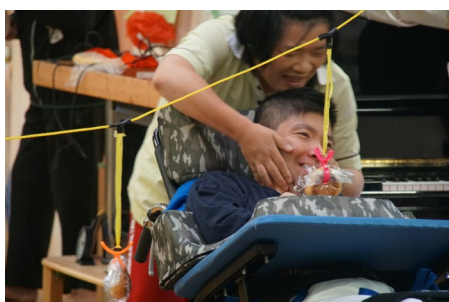
昨年、新福祉棟が完成し、いよいよ新病院が完成しました。新病院での病棟編成でスタッフの異動があり、療育園からも2名の看護師が異動していきました。10月中旬から放射線科等、少しずつ移動し始め、11月18日には各病棟の引越しとなりました。強風と、途中雨も振り出す中、病院スタッフ一丸となり、患者さんを移送する大イベントでした。色々な職種から代表者が集まり、4人1組のグループで1人の患者さんと荷物一式を運びました。普段はあまり交流がないような他職種のスタッフとのグループ分けでしたが、作業が始まると驚くほどのチームワーク！（さすがリハビリテーション病院！チームプレイは得意技?!）まず安全第一で、現在の4病棟から新病院5病棟へ、間違えないようにスタッフそれぞれが声を出し、確認しながらの移動でした。送り出す病棟スタッフの準備と、迎える病棟スタッフの受け入れ態勢がスムーズだったこと、エレベーター、通路の誘導担当スタッフの協力もあり、午前、午後とも予定以上に早く作業が進みました。若干の遅れがあり、病院全体の引越しが終了するまでまだまだ時間が掛かりそうですが、本館の患者さんは新病院での生活が始まりました。

しばらくは何かと戸惑い、混乱することもあるでしょう。実際、私も混乱中なのですが、新病院が『新館』となり、「新棟」と呼ばれていた、療育園があるこの建物は『東館』と呼ばれることになりました。20年近く「新棟」と呼んでいたものを、急に『東館』と言われても、すぐには変えられません。通路もどこがどうつながっているのか、なかなか慣れません。スタッフがこんな状況なので、利用者さん、ご家族も慣れるまで時間が掛かるかもしれません。しばらくは不自由な思いをされるかもしれませんが、ご協力をお願い致します。

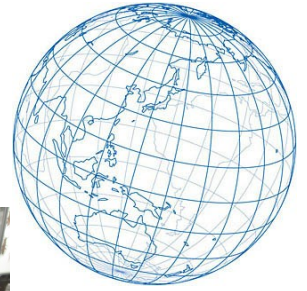
さて、昭和48年に建った古い建物は、引越しが終わり次第取り壊されます。建て替えはやむを得ませんが、壊すとなると少し淋しい気がします。20年前までは、療育園は古い建物の9階にありました。20年以上前から療育園で生活されている利用者さんにとって、9階での生活はどうだったのでしょうか。景色はとても良かったのですが、9階だと、検査や外来受診、ちょっとした散歩でも、エレベーターの乗り降りだけで大変でした。来年の今頃は、古い建物は跡形もなく、綺麗に整備されているでしょう。それはそれで少し楽しみです。工事が終わるまではまだまだ騒々しい日々が続きそうです。



運動会



地球博物館



個別外出

個別外出の一場面
を紹介します☆



チェアスキー発祥の地 リハビリ工学って？ いったい何をしているんだろう？

リハビリテーション工学科
辻村さん・村田さん

リハビリテーション・医療の現場において義肢装具部門、工学部門としてノウハウを生かし、日常的な臨床サービス、研究開発などを積極的に行なっています。

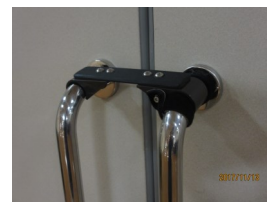
職員は病院所属の義肢装具士、工学技術員、そして研究部所属の研究員からなり、

業務テーマごとに「福祉機器班（4名）・臨床サービス班（2名）・歩行分析班（2名）」の3つのグループから構成されています。

辻村さん、村田さんは福祉機器班に所属され、車椅子、車椅子クッション、車椅子関連機器、障害者レジャー、スポーツ用具などの研究開発と臨床サービスを行っています

療育園には、毎週金曜日に業者の方と理学療法士、リハ工の辻村さんが来園して、車椅子や座位姿勢などの相談にのってもらっています。その他、利用者のケアや用具など多岐にわたりお世話になり、利用者のQOLの向上と職員の福祉機器への意識の広がりが生まれています。

- ・リフター導入（床式走行・天井走行）
- ・トイレの取っ手の改良 ・利用者さんの上肢装具
- ・コミュニケーションツール（環境制御装置）の相談
- ・トイレ用排便車（通常の便座に座れない方のための特別な仕様車）
- ・移動用いざえもん ・U字便座カバー



辻村さんのお話し：

「他の病院や施設と違って、多様な職種によるチームアプローチできるところが他にはない支援サービスになっています。利用者さんに合ったもの、要望に沿った納得できるものにするために利用者の状態を的確に把握し、加工など技術面を含めて業者に繋げられるメリットがある」

「療育園で車椅子作成する場合、利用者さんの目的に見合ったものにするため、看護師、支援員、医師、家族とのコミュニケーションをとることが大切で御家族の要望や園での生活環境での使い勝手など、どこにウエイトを置くか方向性を決めるのに悩むことも多い。経済的な面も勿論のこと、特殊なものをつくると時間がかかり、物によっては自費になることもある。全部叶うか分らないことや、ささいなことでも話をすることで、発信できるのでアイデア等が生まれることもあるので相談してほしい」

車椅子での姿勢がなんで崩れるか、その人はどう生活しているか、
どんな道具より、ずっとけるのを直すのには「人の手」が必要です。

ひと手間かけることが大切です。

12月の予定

6日外出 10日 全体活動 11日 理容入浴
12日美容入浴 13日 外出 17日 ニコニコ会議
20日 誕生会・クリスマス会

編集後記

11月になって寒い日も増えましたね。
寒さだけでなく、インフルエンザや風邪にも
負けない様にしていきたいです。
来月はクリスマス！どのようなものになるの
か、楽しみにしててください。 江川